

ロンドン大学 SOAS 図書館の短いツアーと

サブジェクトライブラリアンの役割

ジョン・ウッド*

はじめに

JAL project 2015 にお招きいただき、ありがとうございます。実行委員会の皆様ならびに関係者の皆様にお礼を申し上げます。

自己紹介

私は、London 大学 SOAS (School of Oriental and African Studies, University of London) で司書として仕事をしている。韓国の西江(ソガン)大学で 史学を専攻、イギリスのラフバラ大学で情報図書館経営学で修士学位を取得、昨年イギリスの CILIP (Chartered Institution of Library and Information Professionals、日本でいうと 図書館情報専門家協会) から公認を受けて Chartered Librarian になる。

職歴は 2011 年より今まで SOAS でアート・マルチメディア担当 サブジェクト・ライブラリアンをしている。その前には、オックスフォード大学出版局図書館で勤務した。大学生時代にも 2 年ぐらい西江大学図書館で働いた。図書館以外にもいろいろな国際音楽会社 (EMI Music, Warner Music) や国際機関 (British Council) でマーケティング・ピーアール関連の経歴がある。

ロンドン大学 SOAS の概要

ロンドン大学 SOAS [設立時は The School of Oriental Studies (SOS)] は東洋への高まる関心に対応して政府の官僚に言語と文化を教える目的で 1916 年に設立された。現在 SOAS はヨーロッパでは類を見ないアジア、アフリカ、中東に関する地域研究に特色とする国際色豊かな大学だ。133 以上の国と地域から留学生が集まり学生約 50% が留学生であるⁱ。学生数は約 5,000 人、専門教員は 300 人以上で、学生対教員の比率 (11.3 : 1) は非常に低いのでⁱⁱ、2013 年に実施された全国学生調査では全国平均より学生の満足度が高かった (89%)。

SOAS 図書館中の芸術・考古学コレクション

SOAS 図書館は、現在イギリスに 5 つしかない国の 指定する研究図書館として、アジア、アフリカ、中東に関する書籍を 130 万冊以上所蔵している。SOAS 図書館の使命 (ミッション) はアジア、アフリカ、中東に関する国際的な研究・教育機関としての大学を補助するために必要な資料やレベルの高いサービスを提供するものであるⁱⁱⁱ。図書館には 7 つの地域研究コレクションと 3 つのテーマの

* ジョン・ウッド (ロンドン大学 SOAS 図書館主題専門司書)

専門コレクションが6階に分かれて所蔵されている。

- レベル A: 南アジア
- レベル B: 古代オリエント・セム学・ユダヤ、中東・中央アジア、イスラム
- レベル C: 中国・内アジア、東南アジア、日本
- レベル D: 芸術・考古学、法律、アフリカ、韓国・北朝鮮
- レベル E: 人文・社会科学、Multi-Media、雑誌
- レベル F: アーカイブ・スペシャルコレクション、雑誌

中でも芸術・考古学コレクションは図書館に初めて設立されたサブジェクトのコレクションだ。学校の設立初期には美術・考古学部は存在なかったが、芸術史と考古学は市民を対象にした講演の中でも人気のある題材だった。1957年に Courtauld(コトルドゥ)図書館からソアス図書館へ移された3,750冊の本、7,000個のランタンスライド、15,000点の写真などから構成されたアジア関連資料を基盤として^{iv}、それまで地域別に分けられた蔵書の中に初めてのサブジェクトコレクションが誕生した。1980年に設立された芸術・考古学センターは1990年には芸術・考古学部になり、現在は国際的に着名な教授陣・研究者達が集まる優れた研究及び教育の場として知られている。芸術・考古学コレクションは、様々な言語による約52,000冊の本と数百種類の雑誌、電子ジャーナルやデータベース、multi-media資料で構成されている。その中でも日本美術に関する資料は特に豊富だ。その理由の一つに、2010年まで芸術のコレクションを担当し

ていた司書が日本人だったことが挙げられる。さらに、以前から幸いにも Sainsbury's (セインズベリー)、Metropolitan Center for Far Eastern Studies (メトロポリタンセンター)、更には卒業生から日本美術関連図書購入基金の支援を受ける機会がしばしばあり、日本文化と美術に関する重要な書籍を継続して購入することができた。そのおかげで、SOAS 図書館はヨーロッパでは大規模な日本芸術の関連書籍を保有した図書館として知られている。

図書館内のアーカイブ・スペシャルコレクションには、アジア、アフリカ、中東に関する幅広いアーカイブ・古文書が所蔵されている。最近では電子資料の数が急増し現在 SOAS 図書館は100以上のデータベース、7万以上の電子書籍、10万以上の電子ジャーナルを保有している。様々な電子資料のために、2015年4月にロンドン大学 SOAS 図書館は、オープンソースの図書館システム“Kuali OLE”を導入した。世界で3番目、ヨーロッパでは初めての導入となる。2016年には、創立100周年を記念した、デジタルライブラリも公開される予定である。

サブジェクトライブラリアンの役割

感想の前に、日本にはあまり多くないないと感じた Subject Librarian の役割について説明をしたい。イギリスの大学図書館には、一般に Subject Librarians (主題司書、主題専門司書)、或いは Academic Liaison Librarians (学科担当の司書) などと呼ばれる司書がいる。主な役割は、担当する地域・主題の蔵書の構築と図書館と担当学科をつなぐことである。SOAS 図書館での Subject Librarian の仕事は主に以下の通りである：

- 資料を選ぶ
- 学内外からの問い合わせに答える
- 利用者向けのリサーチ講習会を行う
- サブジェクト・ガイドを通し資料やリサーチの方法を紹介する
- 担当する学科の会議に出席する
- 新しい授業のリーディングリストを事前にチェックする
- 時にはカタログもとる
- 助成金を探す

この他にも書架から消えた本を探したり、ブログやツイッターを通じて情報を伝達したりもする。研究成果を出版したりする司書もいる。いろいろな仕事をしているが、要は収集する資料の選別や利用者サービスを提供することだと考える。

最近、資料がないことではなく、資料が多すぎるのが問題な時代だ。情報の量や形態が急速に変り行くこのような時代に、情報や書籍をいかに選別・保存し、次の世代に残していくのかが、**Subject Librarian** が果たす役割だと信じている。ひいては私これからも **SOAS** 図書館を質・量共に日本美術資料における宝庫としての守っていきたいという願いがある。勿論、良い資料を集めることも重要だが、どうすればその資料を利用者に届けることができるか、そのサービスも非常に重要だと思う。しかも、私が担当するコレクションの範囲はとても広いので、(アジア、アフリカ、中東に関する芸術・考古学、音楽、**Film Studies**、**Media Studies** および **Multi-Media** コレクションなどを担当) その全ての分野にわたって専門知識を身につけることは難しいと考える。しかし **Samuel Johnson** (サミュエル・ジョンソン)が

「知識には二つのタイプがある。一つは物事を知っていること。もう一つは、それをどこで見つけるかを知っていることである^v」と言ったように、最近の研究傾向は何か、またどこでどんな知識を見つけることができるかについて、司書としての知識を積むために努力しなければならないと考える。

そういった意味で、今回の **JAL project** はたいへん有意義なワークショップだった。様々な機関を訪問し、専門家の方々に会って日本国内で所蔵されている膨大な日本美術作品及び資料について勉強することができた。私は、ロンドンに帰ってからワークショップで習ならった知識を学校内外の日本美術を研究する学生や研究者達に一生懸命に伝えようと思う。

ご清聴ありがとうございました。

ⁱ About SOAS, <http://www.soas.ac.uk/about/>

ⁱⁱ *Ibid.*

ⁱⁱⁱ Vision, Mission and Aims of the Library, <http://www.soas.ac.uk/library/about/>

^{iv} Subject statements: History of Art & Archaeology, <http://www.soas.ac.uk/library/about/what-makes-soas-library-special/iv-subject-collections.html#Art>

^v James Boswell, *Life of Samuel Johnson*. (London: Penguin, 2008), 438.



JAL プロジェクト 2015 公開ワークショップ
ロンドン大学 SOAS 図書館
2015年11月27日 (金)
Jiyeon Wood (ジョン ウッド)



自己紹介

氏名: JIYEON WOOD (ジョン ウッド) BA, MA, MCLIP

学歴:

- ソウルの西江 (ソガン) 大学で 学士 (史学)
- Loughborough (ラフバラ) 大学で 修士 (情報-図書館経営学)
- Chartered Librarian MCLIP (Member of Chartered Institute of Library and Information Professionals) (図書館情報専門家協会による公認取得。)

2



職歴

- 2011 年より現職: アート・マルチメディア 担当 サブジェクト・ライブラリアン (主観司書), ロンドン大学 SOAS 図書館、ロンドン、イギリス。
- 2009-2011: Library Services Co-ordinator at オックスフォード大学出版局図書館, オックスフォード, イギリス。
- 1995-1997: Pt. time Library Assistant at Loyola Library, 西江 (ソガン) 大学, ソウル, 韓国。

3



図書館以外のマーケティング・ピアール関連履歴

- 2007-2008: フジパシフィックミュージック・コリア。
- 2004-2005: ワーナーミュージック・コリア。
- 2003: プリティッシュ・カウンシル・コリア。
- 2002: EMIミュージック・コリア。
- 1998-2001: ロックレコード・コリア。

4



ロンドン大学SOASの概要

- SOAS (School of Oriental and African Studies)
- 東洋アフリカ研究学院
- 1916年 設立。
- SOASはイギリスでは類を見ない地域研究に特化した大学。
- 133以上の国と地域から留学生が集まる。
- 正規課程の学生約50%が留学生という国際色豊かな大学。
- 学生数は約5000人、専門教員は300人以上。
- 学生対教員の比率は11.3対1。
- 学生の満足度89% (National student survey 2013)。

5



SOAS 図書館



- イギリスに5つある国家指定研究図書館の一つ
- アジア、アフリカ、中近東に関する書籍を1.3百万冊所蔵

The SOAS Library. © Image from SOAS Imagebank

6

SOAS University of London

蔵書の構成

7 地域研究蔵書

- ・ アフリカ
- ・ 古代オリエント・セム学・ユダヤ
- ・ 中国・内アジア
- ・ 中東・中央アジア、イスラム
- ・ 日本・韓国
- ・ 南アジア
- ・ 東南アジア

3 主題研究蔵書

- ・ 芸術・考古学
- ・ 法律
- ・ 人文・社会科学

7

SOAS University of London

SOASの学科

Departments and Schools

Research and teaching by discipline or regions of the world

<ul style="list-style-type: none"> ■ Africa, Languages and Cultures of ■ Anthropology and Sociology ■ Arts, School of <ul style="list-style-type: none"> - History of Art and Archaeology - Media Studies, Centre for Music ■ China and Inner Asia, Languages and Cultures of ■ Development Studies ■ Economics ■ Financial and Management Studies ■ History 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Japan and Korea, Languages and Cultures of ■ Language Centre ■ Law, School of ■ Linguistics ■ Near and Middle East, Languages and Cultures of the ■ Politics and International Studies ■ Religions and Philosophies ■ South Asia, Languages and Cultures of ■ South East Asia, Languages and Cultures of
---	--

8

SOAS University of London

Library Layout



The SOAS Library. © Image from SOAS Imagebank

9

SOAS University of London

Level E

- ・ 人文・社会科学
- ・ CD/DVDs
- ・ 雑誌
- ・ Issue・Enquiry・IT Help Desk

Level F

- ・ アーカイブ・スペシャルコレクション
- ・ 雑誌



10

SOAS University of London

Level C

- ・ 中国・内アジア
- ・ 日本
- ・ 東南アジア
- ・ サブジェクト・ラブリリアンの事務室

Level D

- ・ 芸術・考古学
- ・ 法律
- ・ アフリカ
- ・ 韓国



11

SOAS University of London

Level A

- ・ 南アジア

Level B

- ・ 古代オリエント・セム学・ユダヤ
- ・ 中東・中央アジア、イスラム



12



Library Layout



13



芸術・考古学研究蔵書

- ・ 1957年 Courtauld(コートールド)図書館から移ってきたアジアコレクションを基盤。
- ・ SOAS図書館内で初めて独立した主題蔵書。
- ・ 約52,000冊の本と数百種類の雑誌、電子ジャーナルやデータベース、multi-media資料で構成。
- ・ 様々な言語の書籍とジャーナル収集。(英語、ドイツ語、中国語、日本語、韓国語、タイ語、アラビア語などのアジアの言語、トルコ語とヘブライ語を多く所蔵。

14



日本美術研究資料

- ・ 日本美術に関する資料は特に豊富。
- ・ 日本美術関連図書購入基金を支援を受ける。
 - ・ Sainsbury Institute (セインズベリー日本芸術研究所)
 - ・ Metropolitan Center for Far Eastern Studies (メトロポリタン東アジア美術研究センター)
- ・ 卒業生から

15



アーカイブ・スペシャルコレクション

幅広いアーカイブ・古文書を所蔵



鳥歌書画式[EF.J.F.H.180 / 60743] / 古今和歌集 [MS 85146] / 評話浮世風呂[EF.DB913.55/58960]
© Images from SOAS Digital Library [Online]. <http://digital.soas.ac.uk/>

16



最近では電子資料の数が急増

- ・ 100以上のデータベース
- ・ 100,000以上の電子ジャーナル
- ・ 70,000以上の電子書籍



The SOAS Library. © Image from SOAS Imagebank

17



オープンソースの図書館システム "Kuali OLE"の導入



www.library.soas.ac.uk

18



The SOAS Library. © Image from SOAS Imagebank



© Image from SOAS Digital Library [online] <http://digital.soas.ac.uk/>

